



中期経営計画「シン・ニッチツ2025」

2023年5月

1. 中期経営計画方針

ニッチツ企業理念

ニッチツグループは、その経営の原点を、株主はじめ、取引先各位、地域社会との「パートナーシップ」に置き、たゆみ無い向上心の発揮を通じて、高度な産業生産財を提供し、もって、社会の発展に貢献することを究極の理念とします。

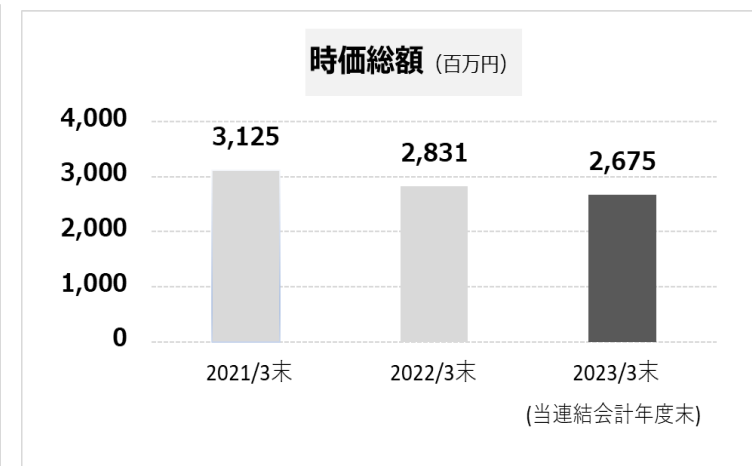
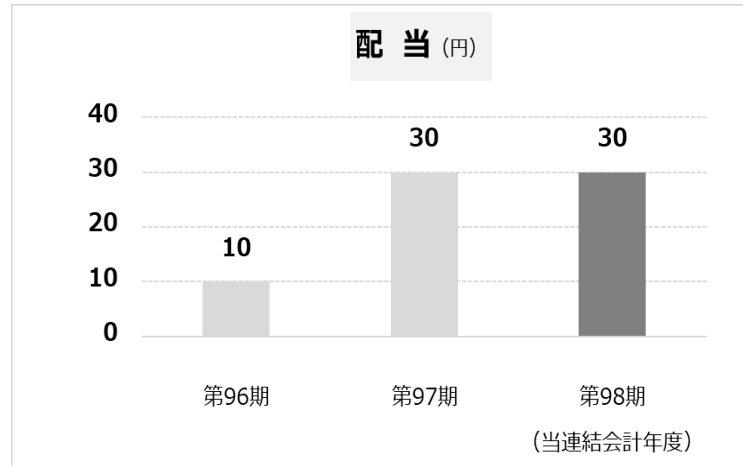
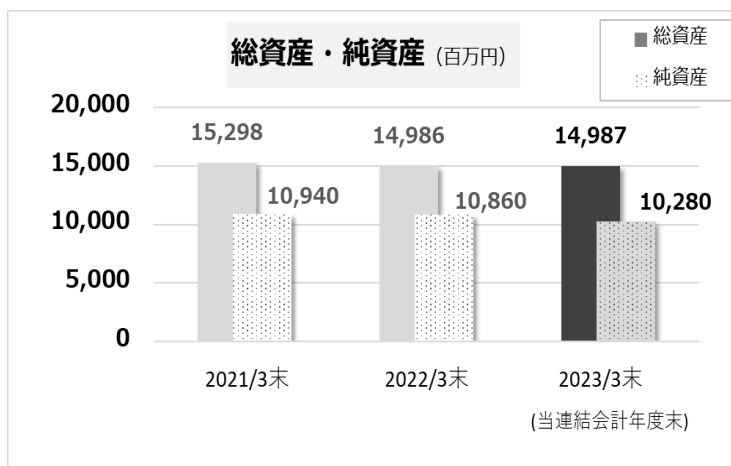
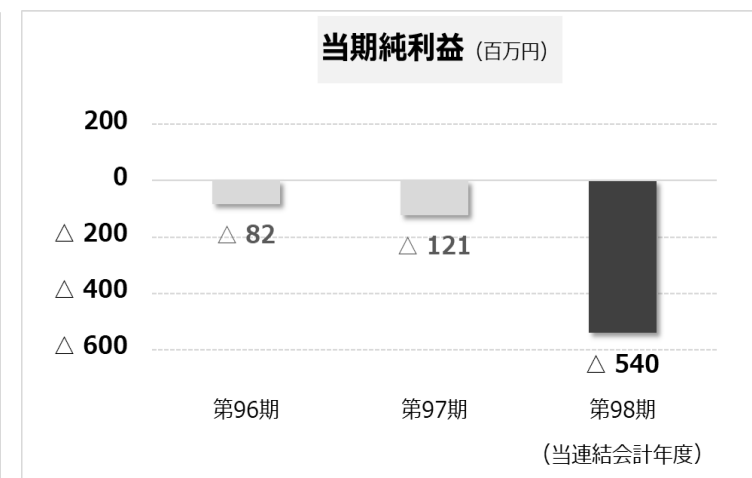
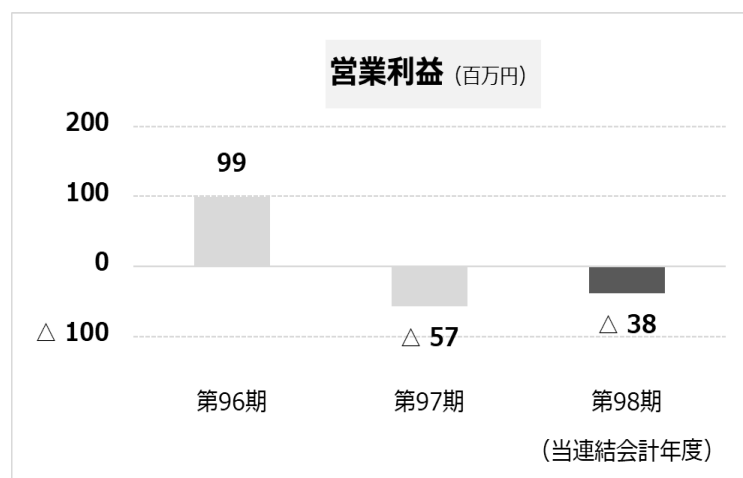
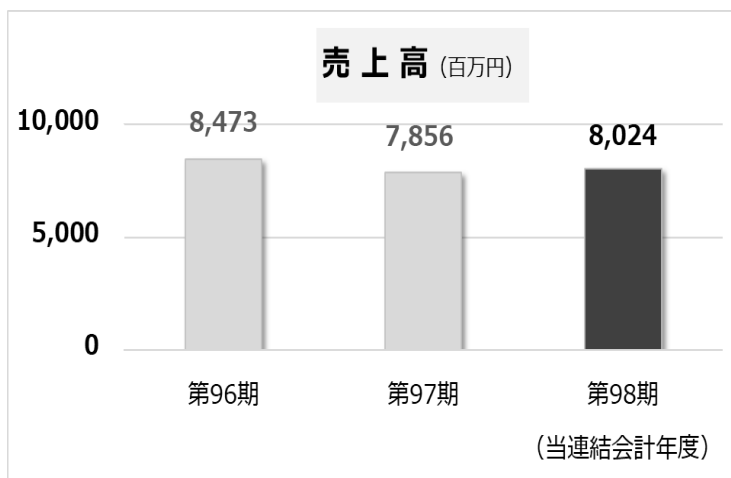
中期経営計画方針

ニッチツ企業理念の実現を目指して、積極投資によるレジリエンス向上（現場力強化）と新たなビジネス領域への挑戦（成長事業へのリソース投入）により、将来に向けて経営基盤を再構築し、取引先・地域への貢献および企業価値向上を着実に図っていきます。

2. 当社の現状と中期経営計画の位置付け①

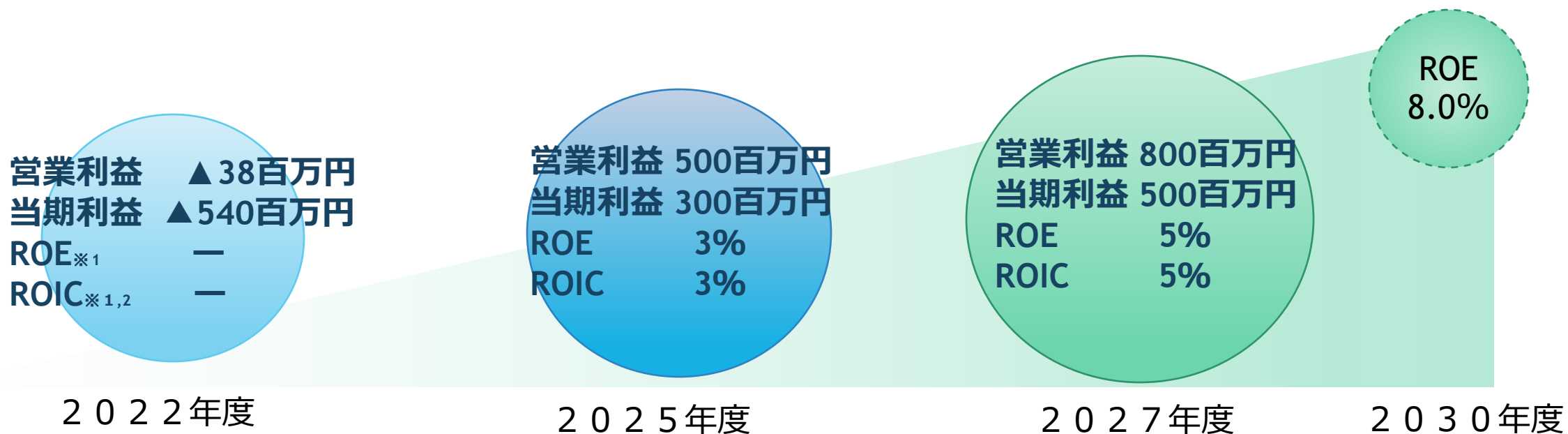
【業績及び時価総額・配当の状況】

- 当社の課題は、収益基盤の整備・強化と企業価値の向上
- 財務体質（純資産・自己資本比率）は、引き続き強固



2. 当社の現状と中期経営計画の位置付け②

- 中期経営計画（2023年度～2025年度）は、2027年度ROE 5%、2030年度ROE 8%を目指すための**基盤強化期間**と位置付け
- 中期経営計画の目標策定にあたり、市場に対してわかりやすい形で示すこと及び自社の資本コストを意識した計画とすることを目的に、投下資本の収益性指標であるROE及びROICを活用



※1 ROE、ROICは試算値

※2 ROIC = 税引き後営業利益 ÷ 投下資本 = (営業利益 - 法人税等) ÷ 投下資本 (有利子負債 + 純資産)

3. 基本経営戦略

戦略Ⅰ

生産設備へ集中的に積極投資することにより、安全性・生産性の向上を図り、現業の競争力を高める

戦略Ⅱ

人財への投資（採用・育成・福利厚生制度の充実）を加速して、社員の働きがい向上と当社グループの競争力向上を目指す

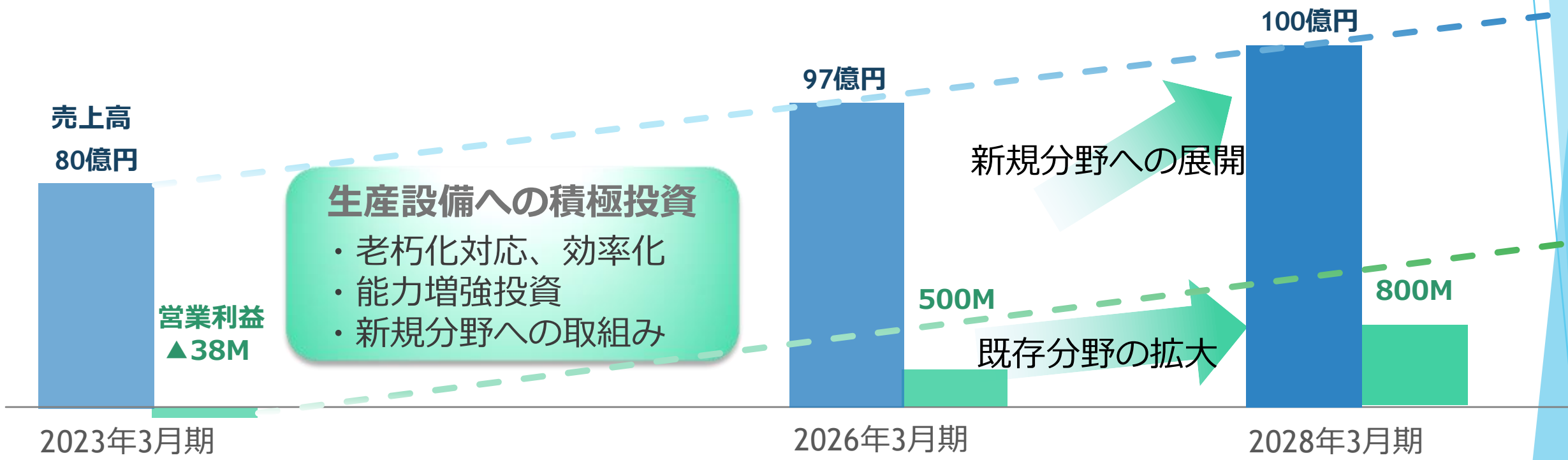
戦略Ⅲ

脱炭素・環境への取り組み等、新たなビジネス領域に挑戦して、現業との両輪とする

2023年度からの3年間を長期展望を実現する基盤強化期間と定め、取引先・地域への貢献および企業価値向上を目指す

4. ニッチの将来への姿

売上高・営業利益の推移イメージ



生産設備への積極投資

- ・ 老朽化対応、効率化
- ・ 能力増強投資
- ・ 新規分野への取組み

基盤強化期間

成長期

～2022年度

中期経営計画 2025年度

長期展望

アプローチ

- ・ 大型設備の更新推進
- ・ 基幹システムの更新
- ・ 結晶質石灰石事業の終了

- ・ 積極投資によるレジリエンス向上
- ・ 新規ビジネスへの取組み強化

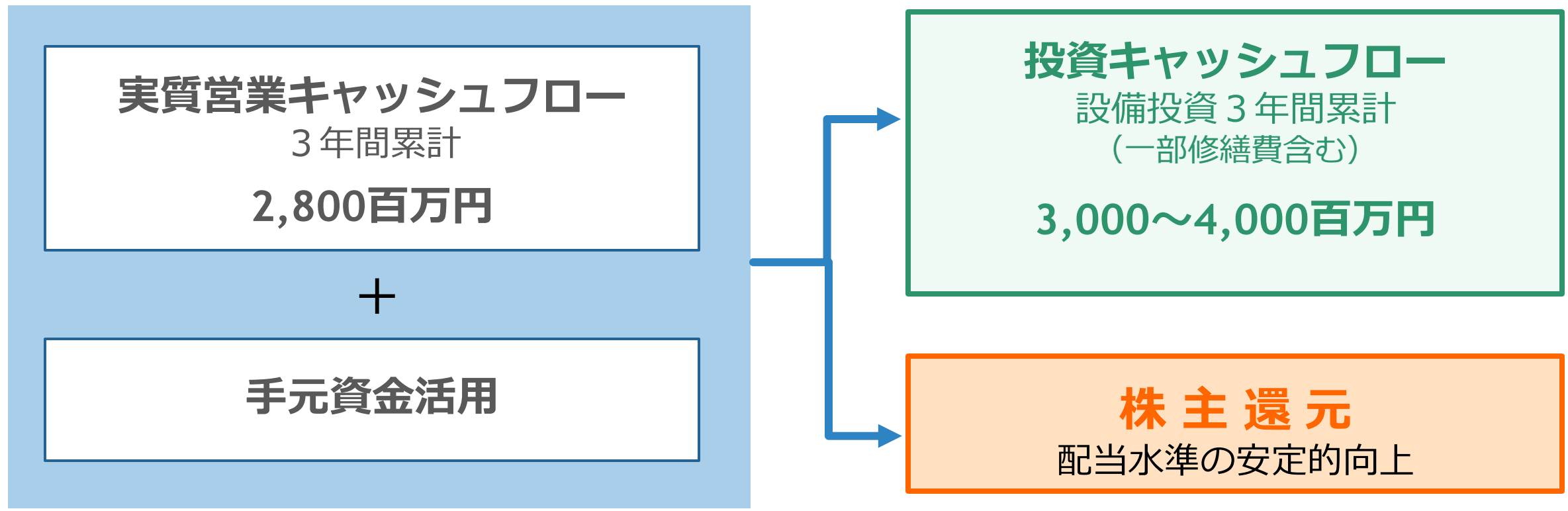
- ・ 合理化投資による利益率の向上
- ・ 新規ビジネスへの取組みが結実し、利益成長牽引

5. 目標とする経営指標（KPI）


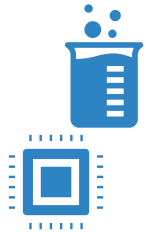

		2021年度 実績	2022年度 実績	2025年度 計画	2027年度 目標
		(単位：百万円)			
	売上高	7,856	8,024	9,700	10,000
収益性	営業利益	▲ 57	▲ 38	500	800
	売上高営業利益率	-0.7%	-0.5%	5.2%	8.0%
	当期純利益	▲ 121	▲ 540	300	500
資本効率	自己資本利益率(ROE)	-1.1%	-5.1%	3%	5%
	投下資本利益率(ROIC)	-1.0%	-3.0%	3%	5%
財務健全性	自己資本比率 (%)	72%	69%	70%	70%

6. キャッシュフロー計画

- 「シン・ニッチツ2025」のキャッシュフロー計画では、
 - ① 潤沢な手元資金の活用（23/3末現預金残高4,412百万円）
 - ② 実質営業キャッシュフローに基づき、積極的な設備投資（一部修繕費含む）を実施していくとともに、株主還元については配当を基本として、配当水準の安定的向上を図っていく



7. 事業別戦略（まとめ）

<p>機械関連事業</p> 	<ul style="list-style-type: none">・ 能力増強投資・老朽化設備更新投資により、生産能力拡大かつ効率化・ 次世代燃料船（風力推進装置、LNG燃料タンクモジュール）への継続的取組み・ 再生可能エネルギー関連工事・環境対策型工事への取組み
<p>資源関連事業</p> 	<ul style="list-style-type: none">・ 能力増強投資・老朽化設備更新投資により、生産能力拡大かつ効率化・ 新製品（超微粉製品、光触媒製品の拡充など）拡充への取組み
<p>素材関連事業</p> 	<ul style="list-style-type: none">・ ライナテックス（高純度天然ゴム）の拡販、各種プラントの設計・製作・据付などエンジニアリングの強化・ 耐熱塗料「サーモジン」に加えて、水性断熱塗料等の開発・拡販

7. 事業別戦略 | 機械関連事業（船用製造部門）

1. 能力増強投資・老朽化設備更新投資により、生産能力拡大かつ効率化

- ・ 型鋼切断ロボット導入
- ・ 工場建屋の改修、大型クレーン設備の更新

2. 船用ハッチカバー・船殻ブロックの継続的提供および製作収支の改善

3. 次世代燃料船（風力推進装置、LNG燃料タンクモジュール）への継続的取組み

型鋼切断ロボット



新型60トジブクレーン



ウインドチャレンジャー



7. 事業別戦略 | 機械関連事業（陸機製造部門・施設工事部門）

1. 重電（水力）関連を中心に、製鉄・一般産業機械関連製品への取組み強化

2. 再生可能エネルギー関連工事・環境対策型工事の積極取込み

- ・ 洋上風車浮体ブロック、地熱発電・バイオマス発電関連製品 他
- ・ 火力複合発電、アンモニア・水素炊き発電、省エネ型電気炉等関連
- ・ アンモニア混焼火力発電への対応製品の開発

3. 火力発電所工事に加えて、原子力発電所関連工事への参入

洋上風車浮体ブロック



7. 事業別戦略 | 資源関連事業（ハイシリカ部門）

1. 能力増強投資・老朽化設備更新投資により、生産能力拡大かつ効率化

- ・ 新粉碎設備の導入による「ハイシリカ」（精製珪石粉等）の半導体関連製品拡大
- ・ 純化处理設備（酸処理設備・磁選機）の増強による光学関連等製品の品質向上
- ・ 製造ライン移設・集約による生産性向上（2工場の効率化）

純化处理設備



磁選機



2. 新製品拡充への取組み

- ・ 超微粉製品
- ・ 光触媒製品の拡充

7. 事業別戦略 | 素材関連事業

1. ライナテックス (LTX、高純度天然ゴム)



粉体プラントの
LTX関連製品
(BKホッパー)



ライナテックス
ラバー

- LTX (高純度天然ゴム・脱炭素) の拡販
- 各種プラントの設計・製作・据付などエンジニアリングの強化

2. 耐熱塗料「サーモジン」ほか

Highly Performance
Paints

THERMOSIN®



- 耐熱塗料「サーモジン」(高温にさらされる金属を、熱や酸などの腐食から保護し、素材の耐久性を向上) の拡販
- 水性断熱塗料など省エネで環境にやさしい多様な新機能商品の開発・拡販

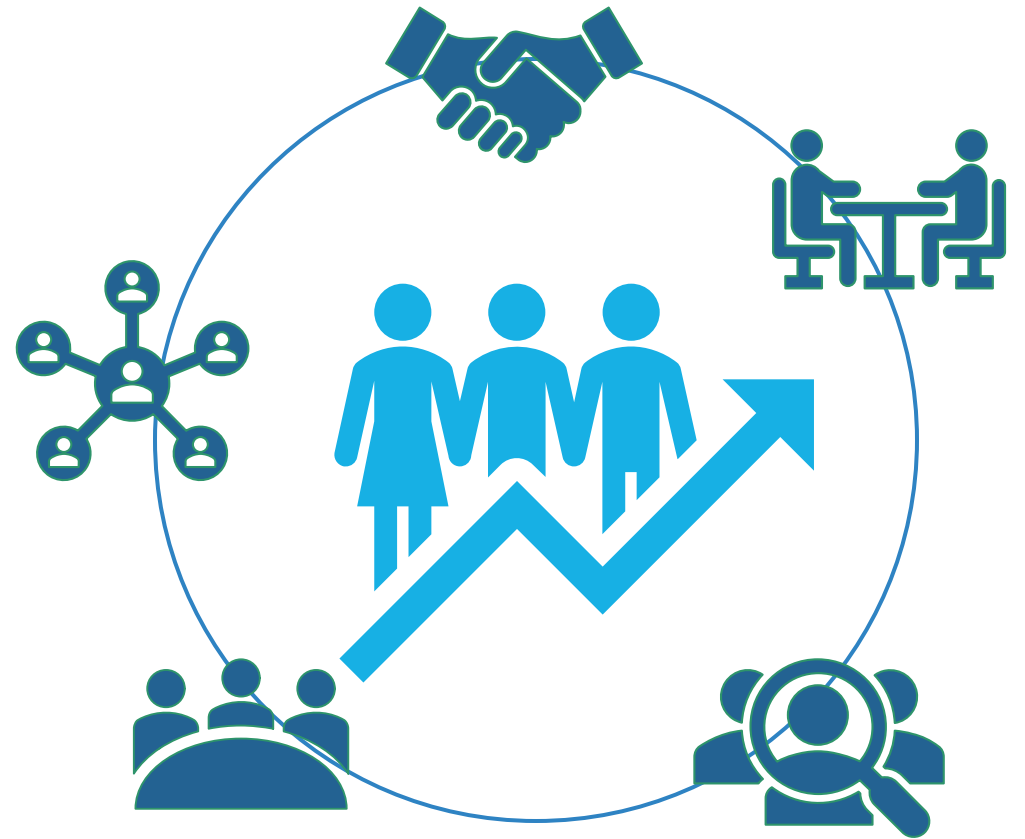
8. 経営基盤の強化①

1. 人財確保への対応強化

- ・ 若手（新卒）、中堅クラスの採用拡大
 - － 独身寮、借り上げ社宅制度の整備
 - － 採用体制の拡充（HPの改訂）
- ・ 再雇用制度の充実
- ・ 外国人従業員の採用拡大

2. 人財定着への対応

- ・ 各種資格取得支援の拡充
- ・ 社員の業績向上に対するインセンティブとなる制度の導入検討
 - － 従業員向け株式給付信託等



8. 経営基盤の強化②

E (環境)	企業理念	企業行動規準
	高度な産業生産財を提供します	環境保全の重要性を認識します

主要課題	主な取組み（実施済み・継続）	主な取組み（今後）
事業運営における 環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、排水及び粉塵の発生防止対策 ・輸送車両の大型化、適正車種、鉄道船舶の利用等による運搬の効率化 ・工場照明のLED化 ・坑廃水処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造拠点における太陽光発電システムの導入 ・フォークリフトの電化 ・坑廃水処理の省エネ化、省人化
環境保全に貢献する 製品・事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・洋上風力発電案件 ・光触媒 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー関連工事・環境対策型工事の取込み

8. 経営基盤の強化③

S (社会)	企業理念	企業行動規準
	経営の原点を、株主はじめ、取引先各位、地域社会との「パートナーシップ」に置きます	安全の重要性を認識します
	社会の発展に貢献することを究極の理念とします	活力ある職場づくりを推進します

主要課題	主な取組み（実施済み・継続）	主な取組み（今後）
安全・健康な職場	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の安全の確保（労働災害の発生防止） ・定期的な健康診断、ストレスチェック、個人面談の実施 ・職場におけるハラスメント防止措置 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産設備の自動化の推進
働きがいの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時間の削減、有給休暇取得の促進 ・グループ表彰、勤続表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員向け株式給付信託の導入検討
多様性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職に占める女性社員の割合、月当たり平均残業時間の目標値を開示、宣言 ・在宅勤務の導入 ・育児時短勤務の延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した人財の採用 ・60歳以上の社員の活躍促進
地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、高校生の職場見学会の受入れ ・従業員の子弟の「工場見学」実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループとしての一体感の醸成

8. 経営基盤の強化④

G

(コーポレート
ガバナンス)

企業行動規準

法と社会規範、社内規則を遵守し、公正・透明な事業活動を心がけます

企業情報については適時的確な開示を行います

常にグループ全体のシナジー効果を展望の上行動します

主要課題	主な取組み（実施済み・継続）	主な取組み（今後）
経営の透明性・ 監督機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査等委員会設置会社への移行 ・ 内部統制推進委員会の定期的な開催 ・ 適時的確な情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを活用した積極的な情報発信
コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先との公正・適正な取引 ・ コンプライアンス研修会の実施 ・ 内部通報制度の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期経営計画に連動した株式報酬制度への見直し ・ 各会議体の役割、位置付けの再定義
グループシナジーの発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ会社との協働による受注獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会メンバーの多様性の深耕

9. 株主還元方針

- ① 配当による株主還元を基本とし、配当水準の安定的向上を図る
 - ② 配当性向30%（中計3年間累計）を目安とし、中期的なFCFの見通しから、配当水準を判断する
 - ③ 自己株取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況等を総合的に勘案して検討する
-

□将来予測に関する注意事項

本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。